

情報機器を活用した総合的な学習の時間の取組

深谷中学校 (報告者) 原口裕安

(実践者) 3学年担当教員

1 題材名 深中タイム(B期) 第3学年 国際理解「世界に目を向けてみよう」

2 題材の目標

- ・ひとりひとりが地球という宇宙船に乗り合わせた乗組員と考え、この地球(世界)という宇宙船全体の問題点や将来を考える視点で、広く世界に目を向け生徒個々の視野を広げる。
- ・文化や考えの違い、テロや戦争、平和、食料や人口問題、自然保護、エネルギーやゴミ問題、貧富の差などの世界で起きている問題について具体的に調べ、日本がすべきこと、私たちの生活から変えるべき事・ほんの少しでも世界に貢献できることを見つける。

3 情報機器活用の意図・情報教育の視点

今、世界でどんな問題が起きているのか。それは日々ニュースや新聞等でマスメディアがタイムリーに伝えてくる情報で理解できるが、その情報量は莫大な物であり、それを整理し、問題点を焦点化するためにはインターネットでの絞り込み検索が有効な手段となる。生徒は瞬時に自分の調べたい課題を絞り、焦点化し、問題点を把握することができる。添付されているカラー画像もその状況を鮮烈に伝えることができる。生徒は情報を選択し、調べ、活用するといった、情報活用能力が身に付く。これには教師による指示、指導が伴う。

また、深谷市では教室に無線RANのアクセスポイントを設け、生徒用ノートパソコンを自在に移動し、各教室でインターネットを活用できる。さらに、移動用のプリンターを持ってくることにより、データのプリントアウトがその場で行え、機動性に優れ、効果的な調べ学習が可能である。

4 指導計画の概要

| 段階 | 時間 | 活動テーマ | 内 容 | 情報機器 |
|----|----|------------------------------------|--|-------------------|
| | 2 | B期の深中タイムの見通しを持つ 課題設定のために | B期の深中タイム ・第3学年のB期の学習すすめ方 ・国際理解学習について ・ビデオ視聴「世界の子どもたち」 | ビデオデッキ プロジェクター |
| | 2 | 地球上で起こっている問題を調べる | ・新聞や社会科の資料集を使って、地球上で今どんなことが問題になっているか調べる。 ・関心のあるテーマをしぼっていく。 | |
| | 2 | 個人テーマの設定 計画書の作成 | ・資料をもとに自分のテーマを決める。 ・テーマに迫るための手だてを考える。 | |
| | 4 | 情報を集める ・調べる | ・新聞、資料集、図書、インターネット、先生、友達、知人の話などを活用する。 | コンピュータ |
| | 4 | 情報を集める ・整理する ・まとめる | ・まとめ方を工夫して、わかりやすく発表できる形を考える。 ・2分程度で発表できるように準備・練習をする。 | |
| | 2 | 発表会 ・評価する | ・クラスごとに発表会を行い、評価をする。 ・発表会終了後、作品を廊下に掲示する。 | |

5 生徒の発表資料

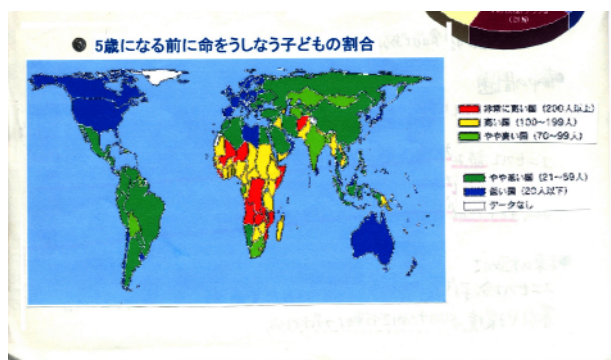
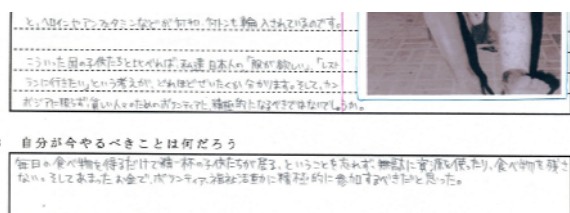
生徒の選んだ課題

ユニセフの活動 / アジアの人々の暮らしと生活 / 日本と貧しい国々の子どもたちの生活の違い

ベトナムの現状について / カンボジアの子どもたち / 母子保健活動 / 日本と発展途上国の環境の比較 / 発展途上国の子どもたちのために私たちができること / 地球環境 / 地球の温暖化 / 世界の難民とそのためになができるか / 豊かな国と貧しい国との貧富の差 / 食糧問題を解決するためには / ストリートチルドレンの実態 / 日本とインドネシア / ゴミ問題 / イラク戦争 / なぜ今も紛争が続いているのか / 世界の国々で紛争が起きるわけ / など

(生徒の感想より)

- ・ユニセフについて調べたことにより、物事の見方が変わった気がします。私たちの国がとても裕福なことを改めて実感しました。私の力は小さいですが、できるだけ協力し、貢献したいです。
- ・アジアの人々は、思った以上に大変な暮らしをしていた。子どもに赤ん坊の世話をさせたり、学校に通えない子どももたくさんいることが理解できた。ショックだった。
- ・今、自分が生活している世界は十分贅沢なのだから、物を大切にして、わがままを言わず、貧しい環境の中で生活している子どもたちのことを忘れずに生活していこうと思う。
- ・ベトナムにも差別が原因で苦しんでいる人がいてショックを受けた。やはり、このような偏見をなくすことから始めるべきだと思う。ベトナムのように医療費を無料にすれば多くの人が救われる。
- ・戦争は絶対にいけないという意識を持ち続けなければならない。私たちが日本に生まれたことや健康でいられることに感謝して、他の人の命も大切にして生きていくことが必要だと感じた。
- ・カンボジアでは1歳になる前に亡くなる乳児がたくさんいることを知り、ショックを受けた。日本に生まれたことに感謝し、他国の困っている人たちを助けるのは当たり前だと思った。



6 成果と課題

どの生徒も今まで知らなかった世界の様子に触れ、考え、「何とかしてあげたい。」という思いと「日本がいかに恵まれているか」という認識を持ったようである。

この調べ学習を通して、生徒の視野が広がり、「世界で起きている出来事」と「世界の中の日本」を関連づけ、日本や自分の立場と自分の果たすべき役割についても考える機会が持てた。

インターネットの情報を頼りに調査内容をまとめてしまう傾向があり、他の媒体や実体験、関係者からインタビューを行ったりする直接体験がなくなってしまうので、その方策が必要である。

インターネットの情報が正しい判断のもとに掲載されているかの判断は、他の資料や教師の指導が必要な場面もでてくる。